

## 第5章 施設管理の目標設定

施設管理に関する目標を設定する意義は以下のとおりである。

- 1) 目標を設定することにより、管理者から現場の職員に至るまで、施設管理の方向性（目的）を共有することができる。
- 2) 目標の達成状況を評価することにより、今後の施設管理の方向性を改善できるとともに、アカウントビリティが向上し住民との相互理解に役立つ。

施設管理に関する目標としては、長期的な視点に立って目指すべき方向性及びその効果の目標値（アウトカム）と、アウトカムを実現するための具体的な事業量の目標値（アウトプット）の2つを設定する必要がある。

管路施設の点検・調査及び修繕・改築に関する目標として、長期的な視点に立って目指すべき方向性及びその効果の目標値（アウトカム）とアウトカムを実現するための具体的な事業量の目標値（アウトプット）を設定する。

### 5.1 事業の目標設定（アウトカム）

アウトカムは、下水道施設の点検・調査及び修繕・改築に関する事業の実施によって得られる効果を定量化した目標を指し、社会的影響、サービスレベルの維持、事業費の低減を勘案して設定するとともに、計画策定及び段階的な進捗状況評価のために、目標達成期間を設定する。

### 5.2 事業量の目標設定（アウトプット）

アウトプットは、アウトカムを実現するために本市が施設を管理するうえで利用しやすい事業量の目標とする。

表 5.2.1 に、本市の点検・調査及び修繕・改築に関する目標（アウトカム及びアウトプット）を設定する。

表 5.2.1 点検・調査及び修繕・改築に関する目標（アウトカム及びアウトプット）

点検・調査及び修繕・改築に関する目標 (アウトカム)			施設種類別事業量の目標 (アウトプット)				
項目		目標値	達成 期間	項目		目標値	達成 期間
安全の 確保	本管に起因する道路陥没の削減	道路陥没 0件/km/年	20年	管路 施設	管きよの 改築	管きよ点検延長：10 km/年 管きよ調査延長：2 km/年 改築延長：0.5 km/年	10年
	マンホールふたに起因する事故の削減	年間事故割合 0件/処理区/年	20年		マンホールふたの改築	点検数量 400 基/年 調査数量 100 基/年 改築数量 20 基/年	10年
サービス レベルの 確保	安定的な下水道サービスの提供	緊急度Ⅰの施設割合を10%以下に抑える。	20年	管路 施設	管路施設 改築	管きよ調査延長：2 km/年 改築延長：0.5 km/年	10年
ライフサイクルコストの低減	目標耐用年数の延長	状態監視保全を行っている設備の目標耐用年数を更にのばす。	20年	管路 施設	定期的な点検・調査による劣化の早期発見・早期対応による延命化	点検・調査延長の見直し 8 km → 18 km	10年

表 5.2.2 段階的進捗状況把握のための目標（サービスレベルの確保）

目標 種別	項目	短期目標 (5年)					中期目標 (10年)					最終目標 (20年)				
施設種類別事業量の目標 (アウトプット)	点検 延長	5年間で10km					5年間で95km					10年間で300km				
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	.	.	.	20年
		0km	0km	0km	0km	10km	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
		2km/年					19km/年					30km/年				
	調査 点検	5年間で0km					5年間で17km					10年間で50km				
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	.	.	.	20年
		0km	0km	0km	0km	0km	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
		0km/年					3.4km/年					5km/年				
	改築 延長	5年間で2km					5年間で2.6km					10年間で15km				
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	.	.	.	20年
		0.4km	0.4km	0.4km	0.4km	0.4km	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
		0.4km/年					0.5km/年					1.5km/年				